

証券コード：6258

第66期第2四半期 Hirata Report

平成28年4月1日～平成28年9月30日



Hirata The Global Production Engineering Company

平田機工株式会社

株主の皆さまへ

代表取締役社長 平田 雄一郎



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第66期第2四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)の事業概況を以下のとおり、ご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済情勢は、米国では引き続き個人消費が牽引し、緩やかな景気回復が続いております。しかし、欧州では、英国のEU離脱による影響などから先行きに対する不透明感は払拭されておりません。また、中国では、自動車販売の減税終了前の駆け込み需要やインフラ投資の増加などがみられるものの、景気の減速懸念が続いております。一方、国内景気は、雇用所得環境の改善や経済対策などにより、緩やかな回復基調が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、受注量の拡大や、コスト競争力を強化するために、海外子会社との協力、連携により現地調達、現地生産比率を高めるなどグローバル市場での事業拡大に注力してまいりました。また、生産量の増大に伴い、負荷調整を積極的に行い、生産リソースの最適な配分や、内製化率の拡大を推進し、詳細な生産スケジュール管理を行うことで、生産体制の強化を図り、収益性の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は315億3百万円(前年同期比23.1%増)となり、営業利益は32億87百万円(前年同期比91.9%増)、経常利益は29億64百万円(前年同期比81.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億3百万円(前年同期比98.6%増)となりました。

通期業績の見込みについて

当第2四半期連結累計期間の業績は、好調な半導体関連生産設備事業、自動車関連生産設備事業を中心に、過去最高の売上高を計上しました。これに伴い、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も同様に、過去最高額となりました。また、受注高、受注残高も前年同期比2倍以上と非常に高い水準となりました。このことから、通期業績予想の連結売上高を600億円から700億円、営業利益を35億円から50億円、経常利益

を35億円から45億円へと、それぞれ上方修正いたしました。また、平成29年3月期の1株当たりの期末配当につきましても、前回発表予想の30円から60円に修正いたします。

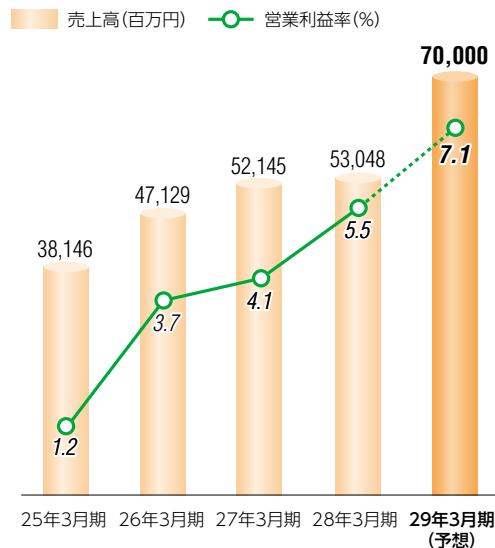
株主・投資家の皆さまにおかれましては、一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■ 平成29年3月期 第2四半期累計実績と通期業績予想(連結)

項目	第2四半期累計実績	通期業績予想
売上高	315億円	700億円
営業利益	32.8億円	50億円
経常利益	29.6億円	45億円
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	19億円	33億円
1株あたり四半期(当期)純利益	201.75円	349.74円
1株あたり配当金	0.00円	60.00円

※配当金につきましては、平成29年6月下旬に開催予定の定時株主総会において付議する予定です。

■ 連結売上高・営業利益率推移



熊本地震 復興支援への取り組み

2016年4月に発生した熊本地震は、熊本に大きな被害を与えました。幸い、当社への被害は軽微でしたが、地震発生後は以下の取り組みを行ってまいりました。Hirataはこれからも、熊本復興に向けて積極的な支援を続けてまいります。

1. 世界中から熊本に仕事を 本社を東京から熊本へ移転

2016年6月23日、当社は本社を東京から熊本へ移転しました。Hirataは世界中で取引があるグローバル企業です。熊本に世界中から仕事を持ってきたいと考えております。

2. 熊本城の修復 株主優待制度の新設

熊本の震災復興支援および熊本城の修復を目的とした株主優待制度を導入いたしました。対象は、毎年3月31日現在の当社株主名簿に記録された当社株式1単元(100株)以上保有の全株主様となります。詳細は当資料裏表紙をご覧ください。



▲熊本のシンボル 熊本城

3. 熊本の人材育成 熊本大学と包括連携に関する協定を締結

8月8日、当社は熊本大学と人材育成および研究開発の分野に関する包括連携協定を締結いたしました。熊本大学と連携することにより、人的・知的資源の交流・融合をめざし、熊本発のローカル・イノベーションを作り上げ、熊本の地域再生を目指します。



▲熊本大学で行われた調印式

4. 期間従業員の募集

仕事を失った被災者の方々を支援するため、期間従業員100名超の募集を行いました。

5. 取引先への支援

当社の仕入先・外注先244社に被災状況を調査し、配送が困難な取引先へのトラック運転手派遣などの支援を行いました。

6. 従業員への支援

特別休暇の付与、災害見舞金・復興貸付金により被災した従業員を支援しました。

Hirataは熊本で生まれ、熊本で育った会社です。熊本とともに生きて復興に貢献し、郷土の皆さまとこの苦難を乗り越えていきます。

ダイソンから「Partnership Award」を受賞

3年連続の表彰 各種モーターの生産および納期、技術力、品質が評価

当社は、6月16日、マレーシアのホテルで開催されたDyson's supplier day 2016にて、Partnership Awardを受賞いたしました。昨年に引き続き、3年連続の受賞です。今回は、Dyson Ltd. (以下、ダイソン) 製品の各種モーターの生産および納期、技術力、品質などに貢献したことが高く評価されました。

また、2016年4月、ダイソンが東京で開催したヘアドライヤー発表時に放映されたビデオの中では、「Hirataは、ダイソンと長年にわたり取引のある素晴らしい会社」と、創業者ジェームズ・ダイソン氏から大変うれしいコメントをいただきました。



デンソーから「グローバル協力賞」を受賞

インジェクター組付ラインの短納期、現地据付に貢献

当社は、株式会社デンソー (以下、デンソー) に、主にディーゼルエンジン燃料噴出部品などの生産設備を納入しています。今回、デンソーのタイ、ハンガリー向けの燃料噴出部品であるインジェクター組付ラインに関して、短納期および現地据付での対応など多大な貢献をしたと評価され、5月16日、「グローバル協力賞」を受賞いたしました。当社がデンソーから表彰されるのは初めてのことです。



航空機パーツ修理工程用自動取付・組立システムに関する感謝状授与

シンガポールの子会社が受賞 航空機事業へのさらなる展開を図る

シンガポールの当社子会社Hirata FA Engineering (S) Pte. Ltd. (以下HSL)は、2015年1月に、航空機用エンジンメーカーのビッグ3の一つであるPratt & Whitney Companyと、SIA Engineering Companyとの合弁会社「International Aerospace Tubes - Asia Pte Ltd」(以下IAT-A) から、航空機パーツ修理工程用自動取付・組立に関する装置の受注に成功しました。HSLは予定どおり7月初旬に装置を納入。納入したロボットシステムによって修理・修繕工程に関する一部の作業効率が飛躍的に向上したとして、シンガポールのIAT-Aにて、Pratt & Whitney Companyから感謝状が贈られました。

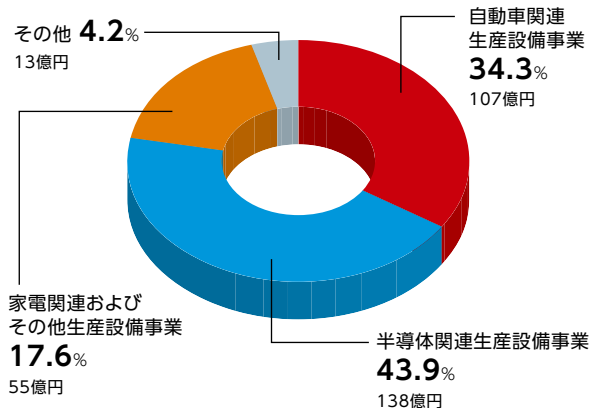
なお、HSLでは、今回の受注を皮切りに、航空機の整備・修理・オーバーホール(MRO)事業へのさらなる展開を図ってまいります。



事業部門別概況

当期売上高内訳

(平成28年4月1日～平成28年9月30日)



売上高

315 億円

受注高

506 億円

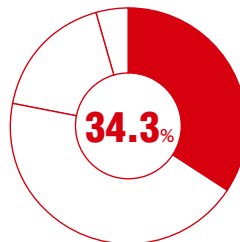
受注残高

509 億円

当第2四半期の売上高の事業部門別構成比は、自動車関連が107億円で全体の34.3%、半導体関連が138億円で43.9%、家電関連その他が55億円で17.6%となっております。自動車および半導体関連の増収により、第2四半期の売上高としては、過去最高額となる315億となりました。

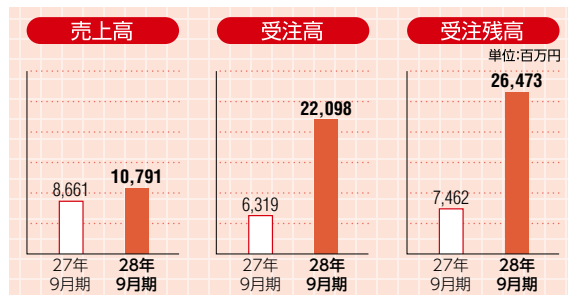
自動車関連生産設備事業

エンジン、トランスミッションなどの自動車の駆動系主要部品をはじめ、制御用電子機器、車載用電子部品などの組立設備の製造・販売



売上高 **107** 億円

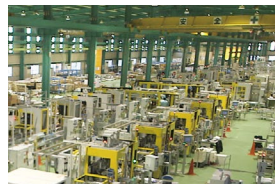
対前年同期増減率 **+24.6%**



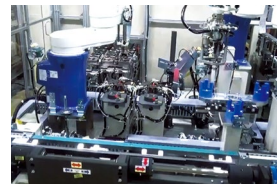
第66期 第2四半期実績

自動車関連生産設備は、北米市場向けのパワートレイン関連設備や、国内自動車部品メーカー向け設備などが堅調に推移し、売上高は前年同期比24.6%増の107億91百万円となりました。

下期の売上高は152億円を予想しており、通期では260億円を計上する見込みです。



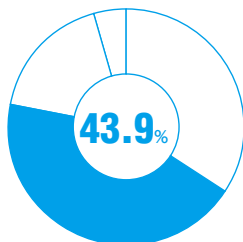
トランスミッション組立ライン



自動車部品のグリッパー搬送設備

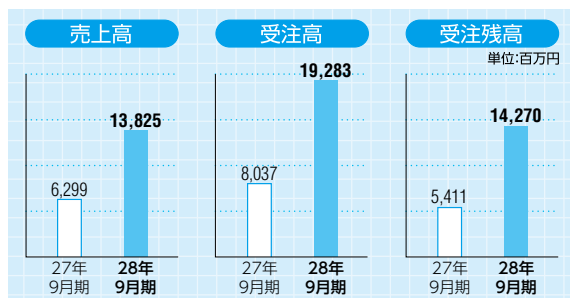
半導体関連生産設備事業

ロードポート、ウェーハ搬送ロボットなどの半導体関連生産設備、有機EL関連生産設備、FPD関連生産設備などの製造・販売



売上高 **138** 億円

対前年同期
増減率 **+119.5%**



第66期 第2四半期実績

半導体関連生産設備は、有機EL関連の蒸着装置案件が受注高、売上高とも堅調に推移したことに加え、シリコンウェーハ搬送設備案件を予定どおり売上げました結果、売上高は前年同期比119.5%増の138億25百万円となりました。

下期の売上高は約122億円を予想しており、通期では260億円を計上する見込みです。



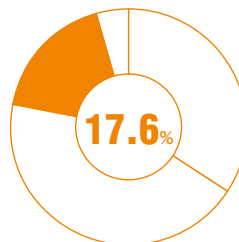
真空プラットフォーム



塗布貼合装置

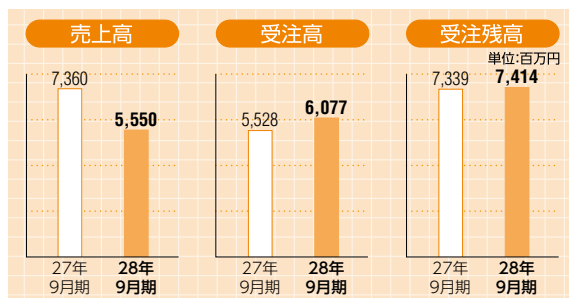
家電関連およびその他生産設備事業

家電関連分野では、テレビ、掃除機などの自動組立設備、その他生産設備分野では、タイヤ生産設備、自動倉庫システムなどを製造・販売



売上高 **55** 億円

対前年同期
増減率 **△24.6%**



第66期 第2四半期実績

家電関連およびその他生産設備は、白物家電を中心とした組立設備案件やタイヤ関連設備案件に一服感がみられたことに加え、当初計画からの売上時期の延期などにより、売上高は前年同期比24.6%減の55億円50百万円となりました。

下期の売上高は、94億円を予想しており、通期では150億円を計上する見込みです。



全自動連続薄切装置
ティシュー・テックススマートセクション
(サクラファインテックジャパン株式会社)



家電部品組立ライン

連結財務諸表(要約)

■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結会計 期間 (27.9.30)	当第2四半期 連結会計 期間 (28.9.30)	前連結会計 年度 (28.3.31)
【資産の部】			
流動資産	39,608	54,904	40,758
現金及び預金	9,642	7,668	7,631
受取手形及び売掛金 1	21,037	33,043	21,795
商品及び製品	136	145	178
仕掛品…………… 2	5,893	10,280	7,634
原材料及び貯蔵品	400	387	450
繰延税金資産	1,447	1,580	1,626
その他	1,107	1,885	1,505
貸倒引当金	△ 57	△ 87	△ 64
固定資産	20,434	18,947	18,923
有形固定資産	15,609	15,511	15,653
建物及び構築物	4,165	3,682	3,915
土地	9,723	9,702	9,717
その他	1,720	2,126	2,020
無形固定資産	429	450	398
投資その他の資産	4,396	2,985	2,872
投資有価証券	2,990	2,408	2,278
破産更正債権等	38	42	43
退職給付に係る資産	844	56	—
繰延税金資産	3	3	83
その他	747	703	697
貸倒引当金	△ 227	△ 228	△ 230
資産合計	60,043	73,851	59,681

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結会計 期間 (27.9.30)	当第2四半期 連結会計 期間 (28.9.30)	前連結会計 年度 (28.3.31)
【負債の部】			
流動負債	27,948	39,440	30,592
支払手形及び買掛金 3	10,198	13,946	10,835
短期借入金	6,551	12,065	6,304
1年以内返済予定の長期借入金 4	6,493	5,334	6,518
前受金	1,653	3,607	2,347
その他	3,052	4,486	4,586
固定負債	8,708	11,771	7,504
長期借入金…………… 4	5,363	8,944	4,305
その他	3,345	2,827	3,199
負債合計	36,657	51,212	38,097
【純資産の部】			
株主資本	16,940	18,419	16,803
資本金	2,633	2,633	2,633
資本剰余金	2,414	2,409	2,414
利益剰余金	12,153	14,529	12,908
自己株式	△ 261	△ 1,153	△ 1,153
その他の包括利益累計額	6,090	3,963	4,444
非支配株主持分	355	256	336
純資産合計	23,386	22,639	21,584
負債純資産合計	60,043	73,851	59,681

ポイント

1 受取手形及び売掛金

受取手形及び売掛金は、売上高の増加により、前期末比112億48百万円の増加となりました。

2 仕掛品

仕掛品は、前期末からの多くの受注残高に支えられ、生産高が増加したことにより、前期末比26億46百万円の増加となりました。

3 支払手形及び買掛金

支払手形及び買掛金は、仕入、外注費などの増加に伴い、前期末比31億11百万円の増加となりました。

4 有利子負債

有利子負債は、生産高の増加に伴い資金ニーズが高まり、短期借入金が増加するなど、前期末比92億15百万円の増加となりました。

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計 年度
	(自 27.4.1 至 27.9.30)	(自 28.4.1 至 28.9.30)	(自 27.4.1 至 28.3.31)
売上高	25,597	31,503	53,048
売上原価	20,567	24,343	42,794
売上総利益	5,029	7,160	10,254
販売費及び一般管理費	3,316	3,873	7,329
営業利益	1,713	3,287	2,924
営業外収益	96	132	161
営業外費用	172	455	260
経常利益	1,637	2,964	2,825
特別利益	0	1	0
特別損失	3	5	92
税金等調整前四半期 (当期)純利益	1,634	2,960	2,734
法人税等	690	1,061	1,034
四半期(当期)純利益	943	1,899	1,700
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	△ 15	△ 4	△ 13
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	958	1,903	1,713

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計 年度
	(自 27.4.1 至 27.9.30)	(自 28.4.1 至 28.9.30)	(自 27.4.1 至 28.3.31)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,838	△ 7,748	2,651
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 457	△ 639	△ 872
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,334	8,828	△ 3,549
現金及び現金同等物 に係る換算差額	55	△ 403	12
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	103	37	△ 1,757
現金及び現金同等物 の期首残高	9,389	7,631	9,389
現金及び現金同等物 の四半期末(期末)残高	9,492	7,668	7,631

ポイント

5 売上高

半導体関連生産設備が有機ELの蒸着装置案件を中心に大幅増収、自動車関連も北米市場向けのパワートレイン設備などが堅調に推移した結果、第2四半期の売上高としては過去最高額となる前年同期比23.1%増の315億3百万円となりました。

6 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

売上高の増加に加え、原価率の低減により、営業利益は前年同期比91.9%増の32億87百万円となりました。経常利益は、前年同期比81.1%増の29億64百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比98.6%増の19億3百万円となりました。

7 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益29億60百万円に対し、売上債権の増加122億5百万円、たな卸資産の増加31億19百万円、仕入債務の増加40億55百万円などにより、77億48百万円の支出となりました。

8 投資活動によるキャッシュ・フロー

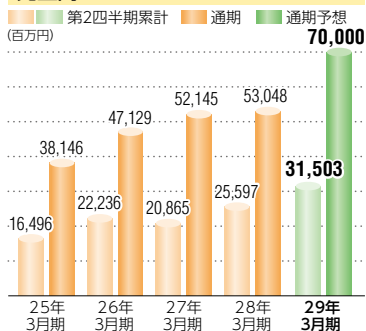
投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出4億97百万円、無形固定資産の取得による支出1億25百万円などにより、6億39百万円の支出となりました。

9 財務活動によるキャッシュ・フロー

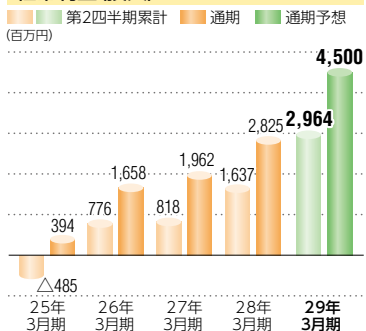
財務活動による資金は、短期借入金の増加57億92百万円、長期借入れによる収入82億円、長期借入金の返済による支出47億45百万円などにより、88億28百万円の収入となりました。

財務ハイライト

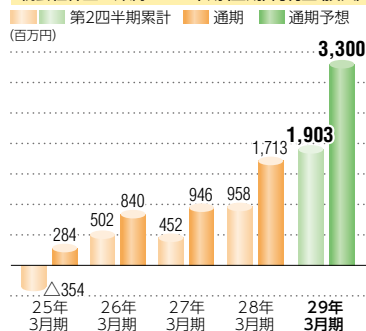
売上高



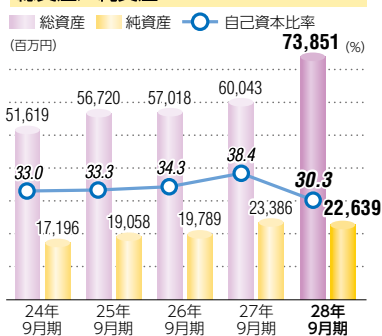
経常利益(損失)



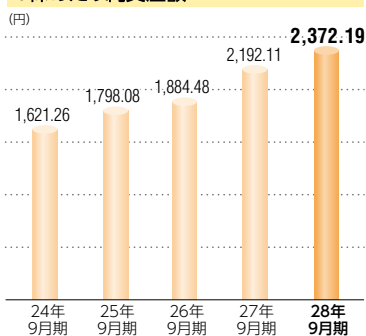
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(損失)



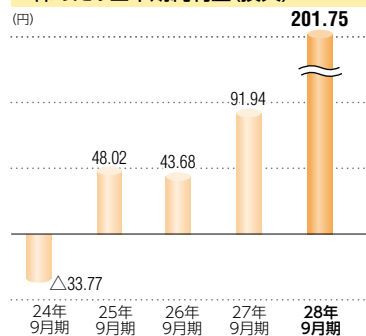
総資産／純資産



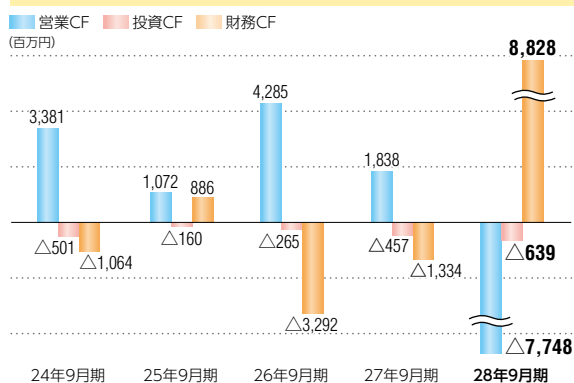
1株あたり純資産額



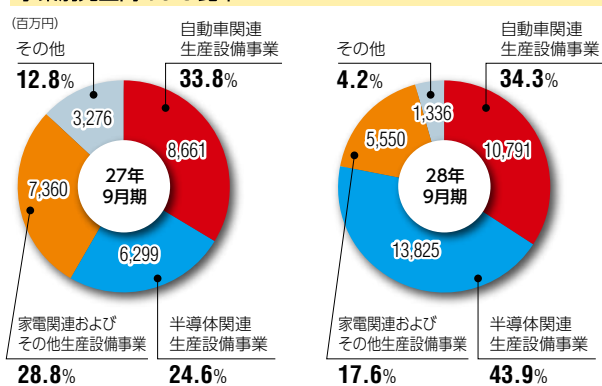
1株あたり四半期純利益(損失)



キャッシュ・フロー



事業別売上高および比率



会社概要 (平成28年9月30日現在)

会社名	平田機工株式会社
会社設立	1951年12月29日
資本金	2,633百万円
従業員数	2,081名 (連結 平成28年9月30日現在)
業務内容	各種生産システム、産業用ロボットおよび物流関連機器等の製造ならびに販売
本社所在地	熊本県熊本市北区植木町一木111番地

役員	代表取締役社長	平田 雄一郎	常勤監査役	元田 直邦
	代表取締役副社長執行役員	橘 勝義	監査役	村田 邦夫
	取締役執行役員	田中 敏治	監査役	鳥巢 宣明
	取締役執行役員	安高純一郎	監査役	今村 憲
	取締役執行役員	藤原 五男	執行役員	平田正治郎
	取締役執行役員	平賀 靖英	執行役員	河本 行広
	取締役執行役員	本郷 仁基	執行役員	印南 静男
	取締役執行役員	黒田 健治	執行役員	藤本 靖博
	取締役執行役員	市原 雄一	執行役員	兼子 利憲
	社外取締役	雀部 博之	執行役員	大久保 洋隆
	社外取締役	鳴沢 隆		

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

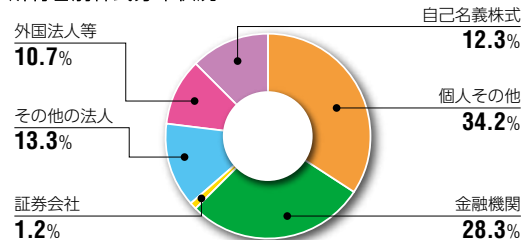
- 発行可能株式総数 37,000,000株
- 発行済株式総数 10,756,090株
- 株主数 1,682名

大株主の状況

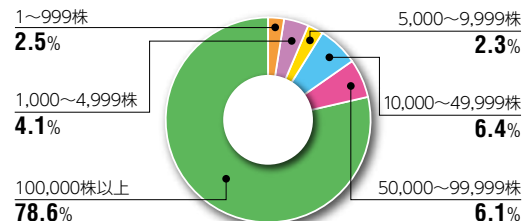
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	692,600	7.34
平田 雄一郎	583,100	6.18
平田機工社員持株会	511,910	5.43
SMC株式会社	500,000	5.30
株式会社肥後銀行	456,000	4.83
みずほ信託銀行株式会社有価証券管理信託0700053	400,000	4.24
平田 正治郎	326,400	3.46
ニッコンホールディングス株式会社	272,400	2.89
平田 隆三郎	261,500	2.77
有限会社コンパス	224,000	2.37

上記のほか、当社が保有している自己株式が1,320,574株あります。持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



株主メモおよび株主優待制度

株主メモ(株主のご案内)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主確定基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 ※期末配当のみとさせていただきます。	同事務取扱場所	〈郵便物送付先〉 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〈電話照会先〉 0120-782-031(フリーダイヤル)
定時株主総会	毎年6月開催	公告方法	当社のホームページに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告します。
単元株式数	100株		
証券コード	6258		
上場金融商品取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場		

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

株主優待制度

【対象株主】 毎年、3月31日現在の当社株主名簿に記録された当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様

【優待内容】 1. 以下①②のいずれかを選択していただけます。

- ① 熊本城災害復旧支援金として熊本市に3,000円を寄付
※名義は「平田機工株式会社(株主寄付口)」となります。
- ② 熊本城災害復旧支援金(6円)付きクオ・カード3,000円分
※3,000円分全額使用できます。

2. 希望される株主様に「復興城主」として以下の特典が付与されます。

- ① 城主証の交付
- ② 城主手形の交付
- ③ 城主手形の提示により、指定の市内観光施設の入場料免除および協賛店割引等
- ④ デジタル芳名板への氏名の掲示(城彩苑 湧々座2階に設置)
- ⑤ 復興城主限定ブックレット等の贈呈(熊本城総合事務所または城彩苑 湧々座にてお渡し)
※特典の詳細につきましては、熊本城総合事務所(TEL:096-352-5900)までお問い合わせください。

【贈呈時期】 平成29年7月予定。以降、毎年同時期を予定

- ① クオ・カードをご希望の株主様へ発送
- ② 「復興城主」特典をご希望の株主様へ仮の城主手形を発送。正式な城主証、城主手形は2ヶ月ほど遅れて発送予定です。



©2010 熊本県くまモン#K1761

平田機工株式会社

本 社

〒861-0198 熊本県熊本市北区植木町一木111番地
TEL.096-272-0555 FAX.096-272-7901

●IR情報に関するお問い合わせ先
平田機工株式会社
管理本部 経理部 IRグループ IR広報課

TEL 096-272-5558

FAX 096-272-3618

E-mail hirata_info@hirata.co.jp